第48回 環境保全・公害防止研究発表会 開催要領

1 目 的

環境・公害関係試験研究機関の連携を密にし、業務の運営、知識及び技術の交流を図り、もって地域住民の健康の保持と生活環境の保全に寄与する。

2 主 催

環境省、全国環境研協議会、秋田県

3 開催日

令和 3年 11月 18日（木）～ 11月 19日（金）

4 開催方法

オンライン開催（Webex Meetings）

5 日 程

(1) 11月 18日（木） 9：00～16：30

① 開 会

② 特別講演

演題：瀬戸内海の環境保全と回復：これからの地域環境研究のあり方

講師：岡田　光正（環境研究総合推進費プログラムディレクター、広島大学名誉教授、放送大学名誉教授）

③ 研究発表

(2) 11月 19日（金） 9：15～14：30

① 研究発表

② 閉 会

6 発表プログラム

別添研究発表プログラムのとおり

第４８回
環境保全・公害防止研究発表会

日　　時：令和３年　１１月１８日(木)　９：００　～　１６：３０
　　１１月１９日(金)　９：１５　～　１４：３０
開催方法：オンライン開催

研究発表会の運営について

１　要旨集の配布

要旨集は、事前に郵送で配布するほか、PDF ファイルをメールで送付します。

２　研究発表会の段取り

１）テストミーティング

①　発表者用のテストミーティングを以下の日程で実施します。
　　１１月１１日（木）、１２日（金）

②　指定されたミーティング時刻にテストミーティング会場に入場していただき、Webex への接続方法、パワーポイント等ファイルの共有方法及び動作の確認をお願いします。

③　確認内容の詳細とテストミーティングの情報は、11 月初旬に事務連絡でお知らせします。同時に、研究発表会当日のミーティング情報もお知らせする予定です。

２）研究発表会当日

①　プログラムから発表時間を確認してください。

②　座長及び発表者は､各セッションの開始時刻の 15 分前までに Webex 会場にご入場ください。事務局で、発表者が揃っていることを確認後、セッションを開始します。

③　発表時間は次のとおりです。
　　発表 12 分 ＋ 質疑 3 分　　計 15 分

④　経過時間は、鈴でお知らせします（10 分：1 回、12 分：2 回、15 分：3 回）

⑤　発表者は、発表時間を厳守し、円滑な進行に御協力をお願いします。

⑥　質問される方は、座長（または事務局）の指示に従って、マイクのミュートを外して発言をしてください。

３　当日の連絡先

ＴＥＬ　０１８－８３２－５００５
（秋田県健康環境センター　企画管理室　小林貴司）

プログラムの概要

■１日目（１１月１８日（木））

開会 （9:00～9:15）	○ 開会あいさつ　　秋田県健康環境センター所長　鈴木 嘉司憲 ○ 主催者あいさつ 環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室長　加藤 学 全国環境研協議会長　廣畑 昌章 秋田県生活環境部長　柳田 高人
特別講演 （9:20～10:20）	○ 演題 「瀬戸内海の環境保全と回復：これからの地域環境研究のあり方」 講師：岡田 光正（環境研究総合推進費プログラムディレクター） 座長：廣畑 昌章（全国環境研協議会長、熊本県保健環境科学研究所長）
休憩（10min）	
研究発表 （10:30～11:45）	○ セッション１　（化学物質・水環境Ⅰ）
昼食・休憩（1h30m）	
研究発表 （13:15～14:45）	○ セッション２　（水環境Ⅱ）
休憩（15min）	
研究発表 （15:00～16:30）	○ セッション３　（水環境Ⅲ・生物・廃棄物）

■２日目（１１月１９日（金））

研究発表 （9:15～10:00）	○ セッション４　（気候変動）
休憩（15min）	
研究発表 （10:15～11:45）	○ セッション５　（大気・騒音）
昼食・休憩（1h30m）	
研究発表 （13:15～14:00）	○ セッション６　（放射線）
休憩（15min）	
閉会 （14:15～14:30）	○ 閉会あいさつ 環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室長　加藤 学 ○ 次期開催機関あいさつ 鹿児島県環境保健センター所長　西 宣行 ○ 開催県閉会あいさつ 秋田県健康環境センター所長　鈴木 嘉司憲

＜１１月１８日（木）＞

１．開会　［９：００～９：１５］

開会あいさつ	秋田県健康環境センター所長	鈴木 嘉司憲
主催者あいさつ	環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室長	加藤 学
	全国環境研協議会長（熊本県保健環境科学研究所長）	廣畑 昌章
	秋田県生活環境部長	柳田 高人

２．特別講演　［９：２０～１０：２０］

演　題　「瀬戸内海の環境保全と回復：これからの地域環境研究のあり方」

講師　岡田 光正（環境研究総合推進費プログラムディレクター）

座長　廣畑 昌章（全国環境研協議会長、熊本県保健環境科学研究所長）

３．研究発表会　［１０：３０～１６：３０］

○　セッション１　（化学物質・水環境Ⅰ）［１０：３０～１１：４５］

座　長：　茨木 剛（新潟県保健環境科学研究所）

１－１　石川県内の公共用水域における PPCPs の実態調査
宮田 朋子（石川県保健環境センター）　ほか

１－２　排水中の揮発性有機化合物（VOC）測定時に使用する
ブランク及び希釈に適する水の検討
沖 拓哉（岡山県環境保健センター）　ほか

１－３　排水中のダイオキシン類の抽出法の改良に関する検討
安達 収吾（新潟県保健環境科学研究所）　ほか

１－４　水環境中 2-ベンジリデンオクタナールの LC-MS/MS による
分析法開発と実態調査及び LC-QTOF/MS によるスクリーニング分析
吉野 共広（神戸市健康科学研究所）　ほか

１－５　家畜防疫に使用される陽イオン界面活性剤の分析
伊藤 朋子（岩手県環境保健研究センター）　ほか

○　セッション２　（水環境Ⅱ）［１３：１５～１４：４５］

座　長：　横山 新紀（千葉県環境研究センター）

２－１　降雨時における印旛沼流域の市街地排水中硝酸イオン濃度の季節変化
横山 新紀（千葉県環境研究センター）　ほか

２－２　印旛沼流域における非特定汚染源からの流出特性調査
横山 智子（千葉県環境研究センター）　ほか

２－３　印旛沼における栄養塩動態について
星野 武司（千葉県環境研究センター）　ほか

２－４　出水時の加古川・揖保川流域における栄養塩（窒素及びりん）負荷量特性
古賀 佑太郎（(公財）ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター）

２－５　大潟村干拓地から八郎湖への流入負荷量解析について
玉田 将文（秋田県健康環境センター）　ほか

２－６　山口県における地下水の水質特性の把握
川上 千尋（山口県環境保健センター）　ほか

○　セッション３　（水環境Ⅲ・生物・廃棄物）［１５：００～１６：３０］

座　長：　田中 仁志（埼玉県環境科学国際センター）

３－１　大和川水系における大腸菌および大腸菌群定量手法の評価および実態調査
浦西 克維（奈良県景観・環境総合センター）　ほか

３－２　福岡県内河川水における有機汚染物質のターゲットスクリーニングと
生物応答試験による水質評価
－災害時におけるバックグラウンドとしての水質調査－
古閑 豊和（福岡県保健環境研究所）　ほか

３－３　河川水を対象にした各種生物応答試験の比較検討
田中 仁志（埼玉県環境科学国際センター）　ほか

３－４　環境 DNA 技術を用いた底生動物網羅解析手法開発の取組
長谷部 勇太（神奈川県環境科学センター）　ほか

３－５　栃木県内の環境中に排出される廃プラスチック類に関する調査（第２報）

神野 憲一（栃木県保健環境センター）　ほか

３－６　地理情報システムを利用した水害発生時の化学物質漏洩可能性と災害廃棄物発生量の推計

西塚 一茂（山形県環境科学研究センター）　ほか

＜１１月１９日（金）＞

１．研究発表会　［９：１５～１４：００］

○　セッション４　（気候変動）［９：１５～１０：００］

座　長：　鈴木 啓明（（地独）北海道立総合研究機構
産業技術環境研究本部 エネルギー･環境･地質研究所）

４－１　積雪寒冷地における気候変動研究　－降雪・積雪の変化とその影響－
濱原 和広（（地独）北海道立総合研究機構
産業技術環境研究本部 エネルギー･環境･地質研究所）ほか

４－２　長崎県における気象観測調査と熱中症発生状況との関連性について
古賀 康裕（長崎県環境保健研究センター）　ほか

４－３　川崎市における気温の変化とナシヒメシンクイの発生消長
澤田 光彬（川崎市環境総合研究所）

○　セッション５　（大気・騒音）［１０：１５～１１：４５］

座　長：　稲内 久（和歌山県環境衛生研究センター）

５－１　奈良県内での打上花火による $PM_{2.5}$ 影響事例評価
山本 真緒（奈良県景観・環境総合センター）　ほか

５－２　和歌山県における PM2.5 汚染の地域的要因の解明について
上野 智子（和歌山県環境衛生研究センター）

５－３　長崎県における $PM_{2.5}$ 発生源の地域特性について（2017～2019）
前田 卓磨（長崎県環境保健研究センター）　ほか

５－４　令和 2 年 10 月及び 12 月の近畿圏における大気中の
ヒ素及びその化合物の高濃度事例について
塩釜 誠（（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所）　ほか

５－５　立山山麓における大気エアロゾル化学成分の長期観測
木戸 瑞佳（富山県環境科学センター）　ほか

５－６　リニア新幹線走行音の距離減衰について
町田 哲（長野県環境保全研究所）　ほか

○　セッション６　（放射線）［１３：１５～１４：００］

座　長：　國井 芳彦（福島県環境創造センター）

６－１　仮置場を畑地に原状回復する際の課題と対応策の検討
日下部 一晃（福島県環境創造センター）　ほか

６－２　福島県内を流れる河川における ^{137}Cs の移行状況について
藤田 一輝（福島県環境創造センター）　ほか

６－３　X 線発生装置を用いた非破壊検査によるモニタリングポスト高線量について
根本 創紀（千葉県環境研究センター）　ほか

２．閉会　［１４：１５～１４：３０］

閉会あいさつ	環境省大臣官房総合政策課環境研究技術室長	加藤 学
次期開催機関あいさつ	鹿児島県環境保健センター所長	西 宣行
開催県閉会あいさつ	秋田県健康環境センター所長	鈴木 嘉司憲